

学級の絆を深める「なないろフェスティバル」

校長 永井裕子



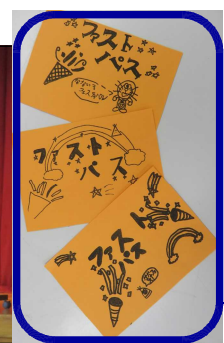
少し寒くなるこの時期に、児童会主催の「お祭り」を行う小学校が多くあります。紫竹山小学校でも、12月6日（金）に「なないろフェスティバル」を行いました。前日の5日の昼休みには、総務委員会が企画した「盛り上げよう集会」がありました。短い時間で、工夫して各学級の出店の内容を全校児童に紹介したり、ファストパス（並んで待たなくても遊べる券）の抽選会をしたりして、フェスティバル気分とワクワク感が大きく盛り上がりました。また、1・2年生は、

分担して1階ホールや体育館前の飾り付けを担当しました。

そして迎えた当日、3～6年生とさくら学級がクラスごとに出店を出し、前半と後半で交代しながら遊びました。1・2年生は、お客様としていろいろなお店を回りました。子どもたちの普段の生活の中では、ゲーム機などを介して一人か限られた仲間と遊ぶことが多いと思います。しかし、クラスで一つの出店を出すためには、みんなと協力し合い、知恵を出し合って工夫する必要があります。どのクラスでも出店ができるまでの過程で、意見のぶつかり合いやうまくいかないことがたくさん出てきます。様々な困難を乗り越えて、各クラスでは、お化け屋敷系、スポーツ系、ゲームセンター系など13のアイデアあふれるユニークな出店を完成させました。200人以上（多いクラスでは400人）ものお客様に対応するためには、コミュニケーション能力も問われます。お客様に楽しんでもらおうと工夫してかかわる中で、相手を思いやる姿もたくさん見られました。お店の人とお客様のあふれる笑顔と熱気で校内がぼかぼかになり、寒さも吹き飛びました。

「振り返り」から、学級会の話し合いを重ねる中で折り合いを付け、考えを練り上げ、出店ができあがった様子がよく分かりました。協力して得られる達成感やよろこびを味わうことで、学級の絆を深められたことと思います。「なないろフェスティバル」の成功は、確かに**学級の支持的風土の醸成**につながっています。

盛り上げよう集会



平成31年として明けた令和元年（亥年）も残りわずかとなりました。今年度の4分の3が終わります。これまで、保護者・地域の皆様から紫竹山小学校の教育活動にご支援・ご協力いただきましたことに、教職員一同心から感謝申し上げます。ありがとうございました。子どもたちは、「令和初」の年末・年始となる冬休みをととても楽しみにしていると思います。ご家庭や地域で過ごす時間の中で、絆を深めながら子どもたちの体験を広げていただきたいと思います。それでは、どうぞよいお年をお迎えください。